

奥山理一郎（18回） 豪理さん西遊記

湘南紳士録 (13)



荒間蒼海

まえがき

無責任時代の萬ず背負業

世を挙げて自由・平等・民主主義、手前のことはたかに上げて、責任転嫁・無責任時代。口だけは現金がかかる為かよく動き、頭と手足は一向に動かない。かかる末世に公正取引の高橋委員長は、企業の悪をボンボン槍玉に上げ、ゴリボンの異名で喝采を浴びている。

湘南のゴリさんこと奥山理一郎は、学校で事件が発

湘美会第一回展



何を語る。塚本先生と沢君

平塚でアートギャラリーを開設する小林茂君（24回）の協力で、湘美会の第一回展を、三月二十一日から二十六日まで同所で開いて盛會だった。

思節の塚本先生の作品を中心、高名な山下大五郎・鈴木清・三浦次郎・永島吉太郎・西野英二君等の大先輩から新進まで二十八名が出品した。

鎌倉で八人展

昨年十月二十六日から、若手と、沢先生（母校教諭）十一月十四日まで、鎌倉で、八人展が開かれ話題をよみだ。塚本先生・奥野先生（在職中物故）と二宮・小黒・後藤・吉崎・内海君のきたいと張切つてある。

23・24回 同窓会

湘南中学最後の卒業生（23回）で、同時に湘南高校第一回の卒業生（24回）の学年が、五月十二日（日）午後零時より、江の島海滨ホテルで、春原・千田両先生のご出席をいただき、青山・大藤・小林・田川君が幹事となり同期会をもつた。集る者は実に七十五名。

卒業以来二十五年ぶりともなると、初めのうちは姓名と顔とが一致せず、マジマジと穴あく程相手を眺めて「オオ、お前は！」とあちこちで交歎が始まること。皆、時間が惜しみつづけ、時間を期しながら別れた。

